

台風7号が近畿地方に上陸します。中心部が海上にあり勢力も強い時は、中心部にはっきりとした「目」があります。台風の様子は、巨大な積乱雲の塊の中心に開いた穴のようなもので、目に入った時に地上や海上から見上げると、ほとんど雲がなく、快晴になることもあるそうです。また中心付近は風速も急激に減退し、ほぼ無風になることもあるそうです。

私は、気象庁の情報とは別に「Windyty.com」という気象情報サイトの映像を参考にしています。そのサイトで、台風7号の風の状況を「観察」してみました。映像の赤い部分が風速が大きいことを表します。また「粒子アニメーション」の動きで、風の強さを視覚的にとらえることもできます。確かに中心部ではほぼ無風になっていることがよくわかります。

